

平成29年度 第1回学校関係者評価の結果

※評価欄は、学校評議員の方々に 4 できている、3 だいたいできている、2 あまりできていない、1 できていない の4段階で評価していただきました。

領域	評価観点	評価項目	評価	0.0 0.5 1.0 1.5 2.0 2.5 3.0 3.5 4.0										
				0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0		
学校運営	連携・協働の推進	家庭、地域との連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりが進んだか。 (授業公開・学校だより・学級通信・ホームページ・地域行事への参加など)	3.8											
	教人育権	児童一人一人を大切にしている教育活動を実践しているか。	3.8											
	環境教育	学びやすい教室や整備された校地校舎等、教育の場にふさわしい学校の環境が整っているか。	4.0											
	安全管理	児童が安全で安心して登下校し、生活できる安全管理や指導の徹底ができているか。	3.0											
教育活動	確かな学力	基礎・基本の定着を図る指導を充実させているか。	3.8											
		児童が「分かった」「できた」「もっとやりたい」と思える授業づくりができているか。	3.8											
	豊かな心	不登校の未然防止やいじめの早期発見・解消の取組ができているか。(日常の声かけ、教育相談、家庭訪問など)	3.5											
		地域のよさを生かした体験活動の推進が図られているか。	3.3											
	健やかな体	体力の向上を図る取り組みができているか	3.5											
		基本的な生活習慣や望ましい生活マナーが身に付いているか。	2.8											

<主なお気づき・ご意見等>

- 基礎・基本の学力の定着を目指す「チャレンジ10」の取り組みは、大変良い取り組みで、5校時の気持ちの準備にもなり、授業も充実すると思われる。
- 家庭でのテレビやゲームの時間や家庭学習については、児童の健全育成(特に、ネットトラブル)や望ましい生活リズムづくりの点から、家庭でもルールづくり等、是非話題にして頂きたい。
- いじめのない学校づくりのために、相談しやすい体制や雰囲気づくりも大切である。
- 児童、保護者の意識を比べるために、アンケート項目を関連させる工夫を考えたのだろうか。